

大和高田市施設利用チェックシート（R2/11/10～事前申請用）

コロナウイルス市内感染拡大防止のため、本市施設を申請される場合は下記のチェック項目を全て遵守していただきたくお願いいたします。

- 活動前、参加者全員に検温し、発熱、風邪症状等がある場合は参加させない。
- 過去 14 日以内に、発熱や風邪症状での受診や内服をした人は参加させない。
- 家族や同僚等が感染者もしくは、濃厚接触者になった場合やPCR検査の結果を待っている人は参加させない。
- 施設の使用前に、必ず石鹸で 30 秒以上手洗いを行い、手指のアルコール消毒を行う。
- 後日、参加者が感染していることがわかったら、すみやかに施設に連絡する。
- 利用者・参加者は、主催者や活動団体において、可能な限り事前予約制、あるいは、入場時に連絡先を記入する等し、活動当日、参加した人の連絡先が解る名簿を所定の様式で作成し、提出する。
- 原則、窓は開けたままで使用する。できない場合は、30 分に一度 5 分程度窓を開けるか、常時換気扇を回して換気の徹底を行う。
- マスクは、常時着用（運動時を除く）とし、ない場合は主催者側で注意、マスク配布を行い、着用率 100%とする。
- 各施設の利用者の間隔は 1m以上の距離を確保するのが望ましく、入退場や共有部（ホール・トイレ等）の利用の際に密にならないよう主催者側が誘導する。
- 身体接触を避けられる距離を確保するとともに、マスク着用の上、隣席と 1m以内の場合は日常会話程度とし、声援、歌唱、大声での会話、ラップ等の鳴り物の使用等はしない。
- 入場者が大声での歓声・声援等を発し、又は歌唱する恐れがある場合は、収容定員の 50%以内とする。（マスクを公演・観戦中外さないことが徹底でき、会話や声援等発声を全くしない場合や屋外での活動については、施設に上限を確認すること）
- 演者等が発声する場合は舞台から観客の間隔を 2m以上開ける。（講演会でも演者は原則マスク使用。マウスシールド、フェースシールドのみの場合は、より徹底した換気を行い、距離を取ること。）
- 演者や選手と観客が催物前後、休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる。（楽屋への出入り待ち、握手会等は行わない。）
- 食事は、バイキング形式や食物（試供品含）のやり取りをせず、施設が指定する方法、場所で行う。
- 調理実習は、調理台のアルコール消毒、手指消毒、手袋着用、会話をしない等を守り、試食を行うときは、特に換気を徹底し、対面を避け、間隔を 2m以上開けるとともに、食事中的会話はしない。
- 飲水をするなど、マスクを外す場合は、屋外や室外に出るか、隣との距離を 1m以上離すなどの配慮を行う。
- 運動時の心肺への負担軽減のために、マスクを外す場合は、換気を十分に行う。
- マスクを外して行う活動・大声を出す活動については、フェースシールドやパーテーションを主催者が用意する等、各活動の全国や県の連盟・団体が示すガイドラインを遵守して行うこと。
- 握手、ハイタッチ、ハグ等の身体接触を伴う行為はしない。武道やソーシャルダンス等、相手と接触する活動ではパートナーを限定する等、後日、接触者を示しやすいようにする。
- 活動終了後は、次に利用する方のために、施設職員の指示に従い、使用した机・椅子・備品の消毒を丁寧に行った上で、元の位置に戻すとともに床面の清掃消毒を行う。
- ゴミは、レジ袋等に入れ、必ず各自が持ち帰る。
- 清掃終了後は、速やかに退出、退館するとともに、手洗い、手指消毒を行う。

以上のチェック項目を全て遵守したうえで、自己の責任において、活動を行うことを約束します。遵守できない場合は、使用中であっても利用を停止し、退出することに同意します。

利用する施設名 ()

利用する日時 (令和 年 月 日 時 分～ 時 分)

代表者（申請者） 住所 :

氏名 :